

# 宇都宮市立清原南小学校PTA

## 学校・家庭・地域が連携した体験活動の実施!

所在地: 栃木県宇都宮市上籠谷町  
全校生徒数: 児童 412名

<b>学校の特徴</b>	・創立140周年の歴史と伝統に根ざす本校は、「本とのふれあい・地域とのふれあい・人とのふれあい」を特色ある教育活動に掲げ、多様な交流活動に取り組んでいる。その中で、児童の礼儀正しく明るいあいさつが自慢の学校である。
<b>地域の特徴</b>	・農業集落を中心とする地域ではあるが、街道を中心に新興住宅地が開発されつつあるものの、地域自治会の活動が活発であるため地域コミュニティがしっかりと形成されている。新興住宅地の若い世代も既存の自治会に自然に溶け込み、地域活動に積極的に参加している。各自治会長はPTAを含む地域協議会に所属し、地域の代表として学校教育の活動を支援している。
<b>活動内容</b>	<b>特徴的な活動</b>

### 保護者・地域・学校が三位一体となる取組の推進

- 教育活動を支える組織運営
  - ・PTA、育成会、自治会が独自性を持ちながらも連携・協力を図る組織である「地域協議会」への支援の充実
  - ・地域行事との連携を図るための事業計画の作成
- 地域・自治会との連携強化を図る取組
  - ・地域一丸で行うPTA文化祭「清南まつり」の開催
  - ・「110番の家」への礼状配付と青パトと連携したPTAの防犯パトロールの実施
  - ・樹木剪定、田植え・稲刈り等専門家集団の活動を通したPTAと地域が連携した学校支援の実施
- PTA会員の積極的な参加を促す取組
  - ・意思の疎通と活動の見通しを図る年6回の運営委員会及び、効率的で時短を促す会議運営
  - ・学校とPTAの意思を共有するPTAだよりの発行

### 清南まつり

【開催時期】11月頃  
【取組内容と工夫】  
・PTAを挙げて児童・地域とのふれあいを目指し、様々な体験活動や催し物を開催  
・地域協議会や地域の各種団体と連携を図り、お雛子・読み聞かせ・ランドゴルフ・昔遊びなどを実施  
・児童が参加できるコーナーの設置により、多くの人が参加  
・まつりを通して、地域との連携を強化



### ○地域住民と連携した取組

地域農業士の指導による、田植え・稲刈りは子どもにも郷土を意識させることを目的に行われ、PTAのOBが組織する「みどり会」による藤の剪定は、学校の緑化環境保全と子どもの愛校心の醸成に繋がっている。



### ○「食育」運動の推進

食育への理解を促進するため、PTAと連携した親子(祖父母)ふれあい給食を開催している。



親子ふれあい給食の様子

### ○その他の活動

学年対抗球技大会、ヘルマークの集計、テトラパックの回収、荒井退造に関する研修会、親子奉仕活動、文化祭の企画・運営、見守り立哨指導、平和教育リーダー養成派遣事業

### 成果及び今後に向けて

- ・イベントだけでなく日常的に学校や地域との交流が図られており、顔が見える関係が築かれ、子どもを取り巻く安心安全な環境が構築されている。
- ・子どもが地域の大人と関わる機会が増え、礼儀の体得が図られ、元気なあいさつの習慣が身につけてきている。
- ・地域の伝統的な行事やまつり等に子どもや大人が多数参加することにより、地域のより良い人間関係が構築され、子ども達のほか高齢者にも活力が生まれてきている。
- ・家庭環境の変化の中、今後PTA活動により積極的に参加してもらうため、効率的な組織改革をはじめとした主体的なPTA活動に取り組んでいく。

【 栃 木 県 教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課 】

# 沼田市立薄根小学校PTA

## 学校・家庭・地域が連携したPTA活動の実施!

【PTAスローガン】～子どもは地域の宝物 ほめて叱って励まして みんなで育てる薄根っ子～

<b>学校の特徴</b>	平成29年度創立112周年を迎える。平成29年度は、沼田市内で児童数が一番多い。平成28年度から学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携し、「沼田大好き!ふるさと学習」「天文授業サポート」等、地域の教育力を活用した学習活動を実施している。
<b>地域の特徴</b>	農業が盛んな地域と工業が盛んな地域からなり、近年は、宅地造成が進んでいる。学校教育に対する関心は、保護者だけでなく地域住民も高く、協力的である。薄根小学校支援地域本部の取組を軸に、学校への協力体制はさらに広がっている。
<b>活動内容</b>	本部役員、地区委員、学年委員、母親委員、専門部員による「実行委員会」が企画立案し、地区委員会、学年委員会、母親委員会、専門部会が主体的に活動を実践している。

### 学びを生かした学習支援

PTA本部役員と「星空案内人ボランティア」が、ぐま天文台職員の指導を受け、親子天体観測会を年3回実施している。



母親委員会が、地域の公民館や読み聞かせグループ「薄根なかよし文庫」から技術を学び、学校で実践している。

### 教育講演会

○教養・厚生部会が中心となり、教育講演会を実施。

家族のコミュニケーションや、望ましい生活習慣等、現代的な課題について親子で学び、家庭でも話し合うなど、親子で学習する機会を提供している。



### 幼小中PTA連絡協議会

幼小中のPTAが、地域と学校・園のつなぎ役となり、PTAスローガン「子どもは地域の宝物 ほめて叱って励まして みんなで育てる薄根っ子」を実現するため、家庭と学校と地域が一つになって子育て支援ができるよう協力している。

### 主体的なPTA組織

- 本部役員、地区委員、学年委員、母親委員、専門部による「実行委員会」で企画立案。
- 「地区委員会」「学年委員会」「母親委員会」「専門部会」が、主体的に活動。

- 【地区委員会】 廃品回収を行い資源のリサイクルを推進
- 【学年委員会】 親子レクを実施し体験活動を推進
- 【生活安全部会】 水難救急法講習会を実施
- 【教養・厚生部会】 教育講演会を実施し、親子で学ぶ機会を提供、PTA球技大会の企画や運動会を支援

### 地域人材を生かした「親子レク」

地域の総合型スポーツクラブや公民館から講師を招き、学年ごとに親子で一緒に体験できる機会を提供している。

○学年委員会が児童の発達段階やニーズに応じた親子レクを実施。

- 1学年 親子エアロビクス
- 2学年 親子ドッジボール大会
- 3学年 給食試食会・講演会
- 4学年 親子陶芸教室
- 5学年 命を育む講座
- 6学年 命を育む講座



### 成果と課題

PTA活動が活発で主体的である。また、幼小中PTAが連携し、スローガンの下、学校と家庭、地域が一つになって子どもの健やかな成長に向け力を合わせている。都市化が進み、人間関係の希薄化が懸念される中、本校では、手本となる地域の先輩方と若い世代がつながり、また保護者同士もつながる取組が進みつつある。今後さらに、PTA活動を通して、人と人がつながり、学校支援に関わる地域人材の育成や発掘を推進し、地域と連携したPTA活動を進めていきたい。

所在地: 群馬県沼田市善桂寺町32番地  
全校児童数: 337名

【群馬県教育委員会生涯学習課】



# 川口市立柳崎小学校PTA



所在地：埼玉県川口市柳崎4-4-1

子どもたちのために

## 学校の特徴

- ☆児童数553名の中規模校
- ☆「元いきいきやなぎっ子」がのびのび生活している学校
- ☆平成30年度に創立50周年
- ☆平成26年度「健康教育」文部科学大臣賞受賞

## 日光御成道



きゅぼらん

## 地域の特徴

- ☆人口60万人都市の川口市の北西部に位置する
- ☆住民1万2千人の柳崎町会に支えられている
- ☆工場、商店を含む交通量の多い住宅街が中心
- ☆住民が守った桜並木が自慢の地域

## 活 動 内 容

### PTA ボランティアマインド

- ☆新体力テストボランティア
- ・保護者が測定を補助します。



- ☆グリーンボランティア
- ・花植えや草取りの環境整備をします。

- ☆図書ボランティア
- ・図書の修理や整理をします。



### 地域との連携

#### ☆安全対策会議

- ・学校、保護者、地域で年5回の会議とパトロールをします。



#### ☆お茶席体験

- ・公民館の茶道部、保護者が6年生の体験を手伝います。

#### ☆幼稚園との交流会

- ・地域の幼稚園との交流会のため、安全サポートをします。



### 内 容

#### ☆親父の会

- ・キャンプや焼き芋大会を運営します。



- ☆やなぎっ子フェスティバル
- ・保護者、地域、外部団体の協力で開催するハザー。

#### ☆お弁当の日

- ・年に1回、保護者の賛同を得てお弁当を作ります。



### 成果

組織の再編成や複数副会長制などにより、無理なく楽しく地域と仲良く活動できるPTAを実現した。

### 課題

共稼ぎ家庭の増加など時代の変化に応じた参加しやすいPTA活動や仕組みの工夫が必要である。

【埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課】



コバトン

# 千葉県立松戸特別支援学校PTA

## 地域に開かれた学校を支援するPTA活動

### 特徴的な活動について

#### ○役員会の開催(月1回)

(保護者と教職員との共通理解の促進、活動の活性化)

#### ○3つの専門部の活動

- ・ベルマーク回収で文化祭の充実、花壇整備で児童生徒の教育環境の向上に寄与している「**文化部**」
- ・施設見学や研修会を年4回以上実施し、保護者の早期からのキャリア教育理解の充実に努めている「**進路部**」
- ・広報紙を年3回発行し、会員への情報発信の充実とPTAの活性化に努めている「**広報部**」

#### ○クラブ活動「絵本の会」(月2~3回)

(大型ペープサートやパネルシアターの作成及び上映  
布絵本や形状認知教材の作成及び寄付)

#### ○地域防災への参画

(地区合同自主防災訓練に参加、地域住民と避難体験  
車椅子試乗コーナー設置、地域の障害者理解に貢献  
内容物リストの作成、「**非常用持ち出し袋**」の用意・設置)

#### ○不要な車椅子等の回収、募金活動の実施

(回収後に海外へ寄付、被災された方々への義援金)

所在地：千葉県松戸市 PTA設立：昭和53年

児童・生徒数：186人 PTA会員数：335人

学校の特徴：平成30年に創立50周年を迎える東葛飾  
地区の肢体不自由教育を担う学校。

地域の特徴：広域8市から児童生徒が通学。  
古くから保護者の活動が盛んな地域。



布絵本を使つての読み聞かせ

地区合同自主防災訓練の様子



不要な車椅子等の回収

非常時を想定した車椅子による  
階段移動訓練の様子

### 成果と課題

- OPTA活動をととして、**保護者同士のつながりや交流**が生まれ、  
会員一人一人の**ライフキャリア**にも結びついている。
- さらに多くの方のPTA活動への参加を目指し、保護者からの  
意見を伝えやすい環境づくり等を進めたい。

【千葉県教育庁教育振興部生涯学習課】



# 文京区立湯島小学校PTA

## 学校・家庭・地域が連携し、子供たちの健やかな成長を願うPTA

所在地：東京都文京区 / 全校生徒数：児童319名

<b>学校の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「向学の気風にあふれ、まちと響き合う湯島の教育」という学校像のもと、目指す子供像を「学校がすき、まちがすき、誇り高さ湯島の子」とし、地域と連携した教育を推進している。</li> <li>・「花育」をはじめとした心の教育を進め、ICTを活用した「分かる・できる・楽しい」授業を目指している。</li> </ul>
<b>地域の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の大学や史跡に囲まれた学問・文化の中心に位置し、お祭りなど地域の活動が活発である。</li> <li>・高層住宅が増えていることもあり、近年、児童数が増えている。</li> </ul>
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部役員会、学年委員会、保体・文化委員会、広報委員会、校庭開放委員会の組織からなる。</li> <li>・年2回の総会、年3～4回の役員会と実行委員会を開催し、各行事の運営を行っている。</li> </ul>

### ＜全員参加型を目指した取組＞

- PTA活動を知ってもらうために、運動会や学習発表会などの行事の見守りなどを、協力委員として全保護者をお願いしている。活動の時期や内容により、保護者間で交代できるように配慮している。
  - 仕事をしている保護者が増えたため、実行委員会を土曜開催にして、回数を減らした。
  - 父親もPTA活動に参加しやすくなるために、父親クラブを発足し、イベントの企画・運営をしている。
  - 学校やPTAの活動に、理解を得られるように、湯島の学びサポーターとして、授業や行事のお手伝いをしている。
- ＜地域と連携して活動するための取組＞**
- 地域にPTA活動を理解してもらえるように地域行事に積極的に参加していることにより、地域の協力のもと、体験型のイベントを多数開催している。

### 特徴的な活動

#### ＜餅つき会＞

- ◇毎年12月頃、校庭開放委員会と父親クラブと地域の協力のもと、校庭にて餅つき会を実施している。実際に餅つきを体験して、つくたてのお餅を食べることができるため、多くの児童が参加している。
- ◆開校145周年記念式典に合わせた餅つき会は、衛生面の配慮から、児童には市販のお餅をお土産として用意して、ついたお餅は食べずに鏡餅にして各教室に飾ることにした。当日は、あわせてベーゴマ、福笑いなどの昔遊びの体験コーナーを設け、楽しいひとときとなった。



#### ○地域と連携した取組

- ・湯島天神例大祭のおみこし、菊まつりの菊の出展、梅まつりの太鼓クラブの奉納演奏など、児童を中心に教職員、保護者も参加し、伝統文化の伝承を大切に活動を行っている。
  - ・湯島健全育成会主催の子供プラザに、PTAから出店している。
- 父親クラブの活動**
- ・校庭開放委員会と協力して、新入生歓迎イベントや卒業生追出しイベントを行っている。
  - ・2年生の昔遊び授業では、元PTA会長や父親が先生になり、子供たちにベーゴマを教える活動を毎年行っている。
  - ・運動会の応援の一つとして「八カ」を披露し、子供たちにエールを贈っている。
- 放課後全児童向け事業**
- ・学校、地域の代表、PTA、区、事業者が連携し、放課後の子供の居場所づくりとして、「アクティ―湯島」を運営している。
- その他の活動**
- ・交通安全パトロール、読書ボランティアによる読み聞かせ、菊づくりをはじめとした「花育」の保護者サポーター、サークル活動（卓球、バスケットボール、バレーボール、コーラス）
  - ・PTAコーラスには教員も参加し、学習発表会や区の「合唱の集い」で練習の成果を披露している。



### 成果

- ・PTAが地域と学校をつなぎ、子供たちの豊かな経験や体験の場ができることで、子供たちの地域や学校を愛する心が育っている。
- ・父親クラブの発足により、PTAの活動に参加する父親が増えた。
- ・仕事をしている保護者も活動に参加しやすくなった。

### 課題

- ・本部役員を引き受けてくれる人が少ない。
- ・PTAの必要性について、保護者に理解を求めていく。

【東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課】



# 横浜市立茅ヶ崎台小学校PTA

所在地：神奈川県横浜市都筑区長坂13-6  
児童数：720名

### 学校の特徴

平成6年に開校。港北ニュータウン都市計画に即した町づくりが進められた地域にあるため、交通の便も良く、また緑あふれ、教育環境に恵まれている。子ども一人ひとりの自立、自主性を重んじる教育方針である。

## 孤立しない子育てを！ 愛のあふれる活動を！

顔が見えるPTA  
子どもとともに 心を育む

### 地域の特徴

都市計画とともに人口が増えている。近頃では、世代交代が始まるが、2世代とも住み続けているケースも多く、子どもの数は増加。新しい商業施設の建設も積極的に行われている一方、地域の自然や農地なども残されている。子どもたちへの関心も高く、行政を中心に、子育て支援体制が充実している。

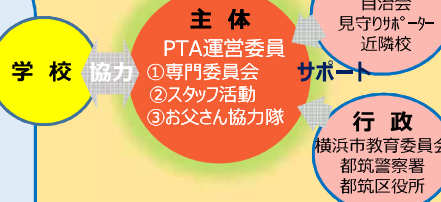
### ①専門委員会活動

- 学年学級委員会活動**  
初夏には「保護者交流会」、秋には子どもたちと保護者、先生方と一緒にゲームを楽しむ「学年レク」を開催。また、保護者向けの「給食試食会」を実施し、心と身体のバランスをとるための食事、「食べる」ということの大切さを改めて学んだ。
- 校外委員会活動**  
都筑区初の安全モデル校として、都筑警察署より認定。警察の協力のもと、子どもたちへ交通安全指導。また、車両への安全運転の呼びかけキャンペーンを実施。行政の力を借りて、横断歩道の補修、グリーンベルトの新設などが完了した。全保護者、地域の方のご協力のもと、登下校時の見守り活動を毎日行っている。

### その他の活動

未来へつなぐ つづき ゆめ駅伝  
駅伝を通し、「助けあう心」「信じあう心」「思いやる心」を学び、感じ、育むことを実感してもらえるよう、都筑区内の全小学校対象に駅伝大会を実施。運営事務局として、他校との調整、都筑区役所及びスポンサー企業との調整を行った。

### 運営組織



### ②スタッフ活動

- 読み聞かせ、図書整備、ヘルマーク古紙回収、チャレンジ広場（体験学習）など多岐に渡り、特色を活かし、子どもたちの心と身体の成長を応援するイベントを実施。
- 体育館に移動式プラネタリウムをよび、自分の町の夜空を楽しみ、学ぶことができた。



### ③お父さん協力隊イベント

- 「学校へ泊まろう！」160名を超える参加  
子どもたちの防災意識を高めるため、学校避難を想定し、地域から回収した段ボールで段ボールハウスを作成し就寝。地域の方と共に、災害時における行動を確認し、体験する良い機会となった。また、起振車による体験も行った。
- 毎年恒例のサマーイベント「流しソーマン」  
竹取り作業から、子どもたち、学校、地域、保護者総勢700名ほどが参加し交流。顔の見える関係も丸14年目をむかえた。



### 成果と今後の取組

学校と保護者、地域が、子どもたちの笑顔のため協力し合い、様々なイベントを実施することにより、孤立しない子育てを目指すことができた。今年度はさらなる連携強化を目指し、地域の力をかしていいただき、「茅ヶ崎台まつり(仮称)」を今秋実施する。

【神奈川県教育委員会生涯学習課】

# 胎内市立中条小学校PTA

所在地:新潟県胎内市 / 全校児童数: 438名

## 学校・家庭・地域が連携・協働した体験活動の実施!

<b>学校の特徴</b>	創立145年。歴史と伝統のある胎内市の中心校。学級数20、教職員数50名。平成27・28年度国立教育政策研究所教育課程研究指定を受ける。29年度も『活用する子どもを育てる授業の創造』を目指し「教科横断的な論理的思考力の育成」に取り組んでいる。	
<b>地域の特徴</b>	胎内市は、新潟市から約40km北に位置し、豊かな自然、歴史的な史跡に囲まれ、工業、農業等の各種産業が盛んである。「米粉」発祥の地として名高い。当地域は、その中心部に当たる。地域住民や保護者の教育への期待や関心が高く、学校を支援する体制も整っている。	
<b>活動内容</b>		
<b>特徴的な活動</b>		
<p><b>子どもたちを支えるボランティア活動</b></p> <p><b>○毎年のべ3000人を超える人的環境の充実</b></p> <p>平成18年度にPTAが中心となって、学校支援ボランティア(通称:つばさっ子ボランティア)を立ち上げ、その後、継続的な取組により、PTA、地域で学校を支援する体制を確立している。現在、①学習支援ボランティア ②環境整備ボランティア ③図書館ボランティア ④すこやかボランティアの4つの部門に分かれ活動している。参加者は、毎年のべ3000人を超える。</p> <p><b>○学校行事「つばさっ子秋祭り」への参画</b></p> <p>学校では、毎年10月に「前教室形式」での体験活動を実施している。「ふるさとアウトドア教室」「お茶教室」など、約30~35の教室が開かれる。各体験教室の講師や会場係として、毎年40名以上の会員が子どもたちの豊かな学び体験を支援している。</p>	<p><b>今日的な課題を取り上げた講演会等の実施</b></p> <p><b>OPTA新春教育懇談会(毎年2月)</b></p> <p>市教育長、大学教授、上級カウンセラー等を招いて、PTA会員相互の学習機会を設けている。</p> <p>これまで、「子どものやる気を引き出す親になる」「子育てを一緒に考えてみませんか」「親子のコミュニケーション」等の講演会やパネルディスカッション、ワークショップ形式の学習会を実施している。</p> <p><b>○「絆」を深める:PTA鼓笛隊</b></p> <p>H28.10.2「胎内市教育の日」に、PTA42名による鼓笛隊が復活した。30年振りに、校歌をはじめ3曲を演奏し、子どもたちや地域の方々は大喜び。親子の絆、地域との絆が深まった。</p>	<p><b>○地域住民と連携・協働した取組</b></p> <p>毎年9月に学校が「4泊5日の宿泊体験学習」を実施している。農家泊をしたり、農作業を体験をしたりしている。その期間中、講師やボランティアとして参加し、地域の自然、文化、歴史、特産物に子どもたちが関わられるよう積極的に学習を支援している。</p> <p><b>○地域の活性化のために</b></p> <p>毎年9月3日、「中条まつり大民謡流し」が行われている。PTA文化部が中心となり、会員や児童に参加を呼び掛け、毎年200名以上の最大人数の団体として参加し、地域を盛り上げている。</p> <p><b>○その他の活動</b></p> <p>深鳥会(5月)、安心・安全パトロール(学習参観日)、着衣水泳(7月末)など</p>
<b>成果</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動が主体的で活発であり、『学校と家庭、地域を結ぶ架け橋』を目指す気持ちが浸透している。後援会、区長会とも連携を図りながら学校教育の充実に貢献している。</li> <li>PTA会員も学校支援ボランティアとなり、積極的に学校教育に参画し、子どもたちの学習を支えている。その成果として、中条小学校は、「地域と協働し、ふるさとへの思いを高める子どもの育成」をテーマに、平成27年度『博報賞』(教育活性化部門)を受賞することができた。</li> </ul>		
<b>課題</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コーディネーターと連携しながら、人的資源のネットワーク化をさらに広げ、ボランティア活動の充実・発展を図る必要がある。</li> <li>次に続く役員を育て、保護者同士、保護者と地域をつなげる活動を意図的、計画的、継続的に続けていく必要がある。</li> </ul>		
【新潟県教育委員会生涯学習推進課】		

# 射水市立塚原小学校PTA

所在地:富山県射水市松木715  
全校児童数:158名

## 学校・家庭・地域が連携した体験活動の充実!

<b>学校の特徴</b>	昨年創校140周年を迎えた。小規模校のよさを生かし、全教職員で全校児童を見守り育て、子供たちが明日も来なくなる楽しい学校づくりを目指している。	
<b>地域の特徴</b>	三世同居が多く、保護者や地域住民は、地元へ愛着心をもっており、学校活動に労力や奉仕を惜みず、協力的である。	
<b>活動内容</b>	「地域の笑顔が子供を育てる」をスローガンに掲げ、笑顔で挨拶し、人を思いやるやさしい心を育てる地域環境づくりに努めている。	
<b>特徴的な活動</b>		
<p><b>&lt;郷土を愛し、豊かな心を育む取組&gt;</b></p> <p><b>○学校花壇整備作業</b></p> <p>平成11年度より毎年花壇コンクールで優秀な成績を収め、子供たちにとって花壇は自慢の一つになっている。日々の世話は、子供たちが行っているが、校舎改修に伴う花壇の移設の際は、PTAが中心となって花壇整備作業を行った。また、毎年春の土作り作業もPTA役員が協力している。</p> <p><b>○農業体験学習のサポート</b></p> <p>射水市の「未来につなぐ「農」と「食」普及事業」に参加し、田植えや稲刈り等の農業体験学習を地域の方々やPTAの協力を得て行っている。</p> <p><b>○親子ボランティア活動</b></p> <p>年に2回、校舎周辺の除草や校舎内の清掃を親子一緒に行っている。</p>	<p><b>地域の親睦を深める「夏祭り」</b></p> <p>平成27年度開始の 新事業 【開催時期】 ・8月末の土曜日</p> <p><b>○工夫している点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の保護者会、児童クラブ、母親クラブの協力を得て運営している。</li> <li>・子供たちが遊ぶ遊びコーナー、フードコーナーについては、毎年見直しを図って、企画している。</li> <li>・校区の中学校の吹奏楽部の演奏や各種団体の紹介などを取り入れ、地域全体の行事としている。</li> </ul>	<p><b>&lt;安心・安全な地域づくり&gt;</b></p> <p><b>○挨拶運動</b></p> <p>全PTA会員が協力して、月に2、3回挨拶運動を実施している。児童玄関前で児童の登校を迎え、挨拶を返した子供に挨拶カードを配付している。</p> <p><b>○交通安全街頭指導</b></p> <p>月2回、交通量の多い交差点で、街頭指導を行っている。</p> <p><b>○防犯パトロール</b></p> <p>毎月1回、夏休み中は毎日、校区を巡回し、児童の様子を見回っている。不審者が近寄りにくい安心安全な環境をつくっている。</p> <p><b>○地区懇談会の開催</b></p> <p>各地区の危険な場所や道路等について話し合い、安全マップを作成している。安全マップは、各家庭や交番、パトロール隊、各種団体に配付している。</p> <p><b>その他の活動</b></p> <p>学年親子活動 教育講演会 心肺蘇生法講習会 夏休み中のプールの監視員 地域安全パトロール隊との情報交換会 中学校区の挨拶運動・PTA意見交換会 市PTA連絡協議会の委員会参加</p>
<b>成果</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育活動への協力を継続することで、学校花壇や農業体験が学校の特色として位置付くまでになった。</li> <li>PTA活動を通して、保護者の連帯感が高まり、各種行事の参加率が上がった。取組によっては、全会員に声をかけたり、保育園の保護者会等の協力を得たりすることで、相互の交流の機会が増え、継続的な活動や広範囲の活動が計画できるようになった。</li> </ul>		
<b>課題</b>		
・行事や活動について見直しを行いながら進めているが、児童数が少ないため、役員や会員の負担が大きい。今後も、地域の力を大いに活用し、学校や保護者同士の連携を図りながら進めていきたい。		
【富山県教育委員会生涯学習・文化財室】		



# 能美市立粟生小学校PTA

## 学校・家庭・地域が連携した体験活動の実施

所在地：石川県能美市粟生町4番地  
児童数：277名 会員数：209名

<b>学校の特徴</b>	児童数が徐々に増加し、平成30年度には、全学年2学級となる見込みである。平成28年度より、石川県教育委員会「いしかわ道徳教育推進事業」における研究推進校に指定され、「礼儀」と「地域素材」をキーワードに研究実践を進めている。
<b>地域の特徴</b>	手取川による扇状地にあり、学校近くにある熊田川では、希少野生動植物種に指定されているトミヨの生存が確認されるなど自然豊かな地域の他に、昔ながらの家並みが続く地域、一方、新興住宅地の増加など、様々な面を持つ校区である。
<b>活動内容</b>	「広げよう和 手をつなぎ 心もつなく 粟生小家族」を役員会のスローガンとし、教養委員会・厚生委員会・生活指導委員会・学級委員会もそれぞれ活動目標を設定し、地域と一体となった活動を年間を通じて展開している。

### 地域に根ざした特徴的な活動

#### あいさつ大会&こころの花運動出発式

##### 【開催時期】

- ・毎年7月初旬
- ・市長・教育長も応援

##### 【取組内容】

- ・校門前で、「あいさつ交流」の表彰状授与
- ・親子で作った「あいさつ標語」の表彰状授与
- 「あいさつは えがおをさかせる 花のたね」

- ・児童が育てた「こころの花」を、校区の高齢者宅にお届け
- ・約300名のお宅を訪問

- ・温かな心と心のつながり



### 学校や団体と連携した活動

#### ○希少絶滅危惧種「トミヨ」

- ◇熊田川の清掃活動
- ◇環境保全
- ◇自然愛・生命尊重
- ◇「ハリコ保存会」の協力



#### ○本に親しむ

- ◇図書ボランティア
- ◇夏と秋の「お話し会」
- ・のまりん紙芝居
- ・辰口お話し会



### 地域と結びついた学習活動

#### ○地域の歴史・文化にふれる「ふるさと粟生カルタ」

- ◇3年生全員所有
- ◇総合的な学習の時間で活用
- ◇見学に地域の協力
- ◇「粟生カルタ」大会の実施



### 成果

- ・活動に参加することによって、保護者間の交流の機会が増え、PTA活性化につながった。
- ・行事を継続することで、見通しを持った活動を行うことができた。
- ・地域に「顔を知る相手」が増え、児童がする挨拶が活発になってきた。

### 課題

- ・活動の継続により、開始当初の主体が不明確になり、整理を図る必要がある。
- ・役員・委員の選考方法を再考し、PTA活動の連続性を保つ必要がある。

【石川県教育委員会生涯学習課】

# 坂井市立坂井中学校PTA



所在地：福井県坂井市  
全校生徒数：388名

『坂井中 PTA.com』 ～共に学び深めよう communication の和～

### 学校の特徴

本校は坂井市役所のある坂井町にあり、水田に囲まれた農村地帯に立地している。生徒の多くは自転車を使って通学している。1年生4クラス、2年生5クラス、3年生4クラスの中規模校である。

### 地域の特徴

校区内には4つの小学校（東十郷小、大関小、兵庫小、木部小）があり、どの小学校区でも共通して地域内のつながりが強く、学校教育に対して理解と協力が得やすい土地柄である。三世帯同居家族が多いが、近年、新興住宅地が増え、核家族化が進んでいる。

### 活動方針

- ・家庭でのコミュニケーションを深め、共に学び成長しよう。
- ・保護者と教師、地域（community）が連携し、PTA活動への積極的理解・協力と地域活動等への参加を通して、共に学び合い、交流（communication）を図ることで、坂井中の教育の充実と生徒達の成長を後押しする環境づくりを目指す。
- ・コミュニケーションツールであるスマホやSNS・LINEなどの使用方法について生徒・家庭・学校でルールを決め、実践しよう。

## ○学校と子ども任せにしない！スマートルールを共同作成

### 『親子で作るスマートルール』

- ・生徒会とPTA役員が「ネット利用懇談会」を開き、意見交換をした。懇談会を受け、生徒会がルールの原案を作った。PTA総会・生徒総会を合同で開き、全体が集まる場で生徒会が現状調査のアンケート報告、ルールの承認をした。生徒からは自分達がネット利用できる端末をみたい理由、PTA（保護者）からは端末を使う上で心配なことを発表し合った。親子で問題点を共有しルールを作成したことで、保護者も生徒もルールに対する意識が高くなった。総会后、各家庭で「親子で作るスマートルール」を作成、毎学期末に反省ルールの見直しをしていく。



## ○先輩保護者が注意喚起。中学生のここが危ない！

- ・2月の新入生説明会の際に、新入生の保護者を対象として、スクールカウンセラーや県教育研究所員を招き、生活習慣やネット依存の問題をテーマに講演会を実施した。在学生の保護者から新入生の保護者へ、注意が促されている。

### 成果

今回の「坂中スマートルール」当初の計画では生徒会が生活アンケートを実施し、それを基に生徒会がルールを作成する予定をしていたが、PTAが協力することで保護者の意見を生徒会に伝えることができた。最終的には、保護者にもルールづくりの意義を理解していただき、一緒にルールづくりをすることで、生徒と保護者、みんなで「坂中スマートルール」を作り上げることができた。また、振り返りとして反省ルールの見直しを毎学期末に親子で行う流れを作り上げることができた。

### 課題

今回の「坂中スマートルール」づくりに際して、生徒とPTA（保護者）がネット利用について様々な形態で話し合うことができた。今後も各学期末の振り返りだけでなく、「ネット利用アンケート」などを実施し、それを基に学級会を開いたり、生徒会・親子集会を開いたりするなどの活動を継続的に行っていかねばならないと考える。

【福井県教育庁義務教育課】